

くつろぎ タイム



駐仙台大韓民国総領事館
(青葉区上杉)
総領事

イ ボムヨン
李 凡淵 氏

1959年5月12日生まれ
大韓民国 光州広域市出身
血液型A型

おいしい水と米、お酒を楽しみ、
厚い人情にあふれる仙台で
充実の日々を過ごしています。

「**仙台の総領事に就任されて2年半。仙台の印象はいかがですか。**」

18年前に勤務した東京の大使館が、麻布十番の仙台坂というところにあつたので、一度は仙台を訪れてみたいと思っていました。当時はその機会がなかったのですが、2年半前に仙台に赴任することになった際、仙台との縁を感じ、歴史好きな私としては、伊達政宗公が築いたまち、その足跡にふれることをとても楽しみにしてまいりました。

仙台は規模的にも、経済の面でも大変住みやすい都市だと聞いていましたが、その通りですね。何よりも人が温かいです。

文化的な面では、お祭りやイベントが多いのも素晴らしいですね。今月行われるジャズフェスは、街全体がジャズバンドであふれるとても素敵なイベント。ぜひ韓国の人にも見に来て欲しいですね。

1982年1月全南大学校英語英文学科を卒業後、1983年6月外務部入部。米ワシントン大学への留学を経て、1988年11月駐デンマーク大使館2等書記官に就任。その後、1995年9月駐日本大使館1等書記官、駐ブルネイ大使館・駐カナダ大使館参事官、駐オーストラリア大使館公使兼総領事などを経て、2012年2月より現職。2回目の日本駐在に、任務への意欲を燃やす李さんの好きな言葉は、中国古典『中庸』に書かれた一節。

「小さなことにも最善と真心を尽くせば、自分が変わり、周囲も変わり、世界も変えることができる」といった内容のことが書いてあるのですが、私もこの本に出会う前から同じことを考えており、日々、実践してきました。これからも、ずっと大切にしていきたい言葉です」と話す。

休日は何のようについ お過ごしですか？

おいしいものを食べることに、旅行が趣味なので、家内と一緒に食べ歩きを楽しんでいます。仙台にはおいしいものがたくさんあります。仙台にはおいしいものがたくさんあります。仙台にはおいしいものがたくさんあります。仙台にはおいしいものがたくさんあります。

震災から間もなく3年半が経過 しようとしていますが、東北の 復興状況に対してどのような感 想をお持ちですか？

赴任してすぐに被災地を回りましたが、被害の大きさに心が痛みました。現在、復旧も確実に進んでいると感じます。しかし、復旧・復興の速度がやや遅いのではないかと感じています。一方で、中長期的な視点に立ち、十分に検討して構築した計画を、丁寧に進めることは日本の長所だとも思います。

私たちも、復興に少しでも寄与できればと、被災地でとれた農・水産物を使った韓国料理をつくる講習会を開催しています。4月には石巻の仮設住宅にお住まいの方々と、石巻の名物・ホヤを使った韓国式ピョンパをつくりました。皆さんが「おいしい」と言ってくれ、とても嬉しかったです。この講習会には駐日大使も参加しており、韓国への宮城の食の安全もPRできたものと思っています。

昨年6月、韓国の光州商工会議所と 仙台商工会議所が友好協定を締結し ました。この友好協定に、どのよう な期待をもっていますか？

私は仙台に赴任して以来、両国間の相互理解を深め、信頼関係を深めるためには、国民間の交流と親善が重要であると考えてきました。そのために民間の交流、経済交流、自治体間の交流、青少年の交流に重点を置いて努力しています。その中で一番の大きな成果が、仙台商工会議所と光州商工会議所が友好協定を結んだことです。

仙台市と光州市は、産業面で似ている部分が多く、協力し合える部分も多いと思います。ですから、ビジネスマンの直接的な訪問によってお互いを理解し、それが相互に利益が生まれるビジネスに結びつくことに期待しています。そのためには、仙台から光州市を訪問していただく、また私たちも光州市から仙台に企業の訪問団をお呼びして、相談会や商談会、展示会などを開催したいと思っています。

昨年、「キムチフェスティバル」という日韓親善イベントを開催 されましたが、どのような思い で、開催を決められたのですか？

復興に寄与でき、心の交流ができるものはないかと検討し、やはり「食」を通じて両国民が交流するのが良いのではないかと考え、このイベントを企画しました。韓国のレシピで参加者自らがつくったキムチは、「本場の味は違う！おいしい」と大変好評でした。宮城には伝統野菜の「仙台白菜」がありますので、それを使ってキムチを売り出せば、震災復興、地域経済の活性化にも

つながります。そこで昨年の9月に、津波で甚大な被害を受けた岩沼の畑に赴き、地元の小学生と一緒に「仙台白菜」の苗植えをしたんです。この「キムチフェスティバル」は、今年も11月21日に仙台市民会館で開催します。

今後の活動の予定を お聞かせください。

両国の関係があまり良くない現状にあって、友好と信頼関係を取り戻すためには、私は民間の交流、特に青少年の交流が最も大切だと思っています。昨年の12月に石巻の高校生14人、この夏は20人を韓国に招待して、韓国の高校生たちと交流する機会を設けました。若い世代が直接会って対話し、自分の目で見たり体験することで、マスメディアが報じることだけでなく、自分自身で多面的な判断ができるようになると思っています。また、スポーツの交流にも力を入れていきます。8月には加美町で総領事杯パークゴルフ大会を行いました。10月には仙台でテコンドー大会も開催します。両国の未来を担っている若い世代を中心に、お互いの国を知る機会を増やすような事業を行っていききたいと思います。



岩沼に苗植えした仙台白菜を地元岩沼の小学生と一緒に収穫。収穫した白菜はキムチフェスティバルで使用される。

街

やさしい気持で暮らせるように……。

たくさんの方が集まり、働き、笑い、泣き、そして暮らしてゆく空間、『街』…。そこで人々が明るく、健康に、そして何よりやさしい気持で暮らせるように、快適な都市環境をつくって行かなくては…。私たちはそう考えています。私たちは青葉環境保全です。

より良い環境をめざす

AOBA 青葉環境保全

本社/仙台市若林区蒲町19-1

電話(022)286-3161(代)